



杵築中央病院 病院長

安東 孝文 氏

地域を守る医療を磨き上げる

杵築城を中心に、南北の高台にある武家屋敷が商人の町を挟んだ「サンドイッチ型城下町」を形成する杵築市中心部。近年は観光客が増え、にぎわいが生まれている。そのお膝元に位置する同院は、11診療科と二次救急の機能を併せ持つ。開院から13年目。今後10年間のあるべき姿として▽災害時の拠点となる病院づくり▽高機能病院との連携を強化したコミュニケーション能力の高い病院づく

り▽検診、リハビリ、人工透析の各機能を充実させた病院づくり―の3点を挙げる。「高齢化が進む地域の医療を守るため、機能を磨き上げたい。大雨や地震、津波といった自然災害はいつ起こるか分からない。治療が必要な人数を想定し、対応可能な組織・設備を考えていきたい」。普段の救急対応でも、患者の状態の迅速な把握に努める。「一刻を争う現場。必

要な治療を見極め、他市の病院へ搬送して命を救うことも使命」と語る。一方で、慢性期の患者への対応にも心を砕く。「新型コロナウイルスの集団感染は起こさない」。玄関に専任スタッフを置き、問診と検温、消毒を徹底。院外に発熱者対応の受付を別に設け、他の患者と接触しない治療体制を整えた。「身近に親族がおらず、スタッフが見守りも務める入院患者もいる。役割を果たしてくれていることに感謝している」

診察では患者の身の上話も含め、じっくり話を聞く。産業医も務める。「メン

タルヘルスの重要性への使命感は強い。病のつらさに寄り添い、少しでも気持ちをお楽にしてもらう。1人暮らしのお年寄りも、問診は貴重なしやべる機会。人生の先輩たちの価値観を知ることが治療のためにもなる」と笑顔を見せる。

昨年11月、市内の老人保健施設と診療所を継承した。「認知症への対応なども含め、無くしてはいけなないと考えた」。県登録のオレンジドクターとして、超高齢化に伴う認知症の高度化は肌身感じている。「地域への責務は増したが、スタッフとともに課題に向き合いたい」



急性期から慢性疾患まで幅広く診療

病院DATA

●診療科目
内科・外科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科
泌尿器科・放射線科・人工透析内科・アレルギー科
リハビリテーション科・神経内科

●診療時間
月～土／8:30～12:00、14:00～17:00
(緊急時は随時受付) 理事長・院長安東医師のみ
午後の診療が15:30～となります。

●休診日
日曜、祝日



医療法人 恵友会
杵築中央病院

杵築市大字杵築120番地
TEL0978-62-3080
<http://www.kc-hospital.or.jp>

